

2008 年度原子核三者若手夏の学校 三者総会議案書

編集：2008 年度三者事務局校（総合研究大学院大学）

2008 年 8 月 22 日

◎国立オリンピック記念青少年総合センター

目次

1	2008 年度三者センター校（名古屋大学）	[’08/07/29 現在]	2
1.1	活動報告；援助と協賛について		2
1.2	2008 年度夏の学校決算報告（暫定版）		2
1.2.1	収入予定		2
1.3	支出予定：各役職校からの予算（見通し）申請を元に作成		3
1.3.1	各三者役職校の支出予定項目		3
1.3.2	各パート役職校の支出予定項目		4
1.4	各役職校の決算提出について		5
2	2008 年度三者事務局校（総合研究大学院大学）	[’08/08/08 現在]	6
2.1	活動報告		6
2.2	三者役職校の選定（承認）		6
2.3	秋の三者総会の開催方法について		7
3	2008 年度三者名簿校（千葉大学）	[’08/07/29 現在]	7
3.1	名簿校の活動資金について		7

1 2008年度三者センター校 (名古屋大学)

['08/07/29 現在]

文責 : (名古屋大学 羽場 一基)

1.1 活動報告 ; 援助と協賛について

2007年度三者センター校は以下の団体に対して経済的援助あるいは協賛を依頼し、承認を得た。

- 援助 : 基礎物理学研究所: 50万円*, 素粒子論グループ: 45万円
- 協賛*: RCNP(核物理研究センター), 原子核談話会, 高エネルギー研究者会議, 日本物理学会, 理研仁科センター

* 基研からの予算は講師及び学生トーカー旅費補助とポスター印刷費を合わせて50万円。

また、ポスター印刷費(上限10万円)は実際にかかった費用のみが支払われる。(今年度は¥20,000)

* 『協賛』とは、三者の配布する夏の学校の宣伝ポスターに『~協賛』の文字列を入れることの許可に加えて、機関紙等において夏の学校の宣伝をさせて頂く、会員に対して夏の学校の講師になった場合に、自費で夏の学校に来て頂くよう呼びかけてもらうなどの意味である。

1.2 2008年度夏の学校決算報告 (暫定版)

1.2.1 収入予定

(1) 前年度繰越金: ¥1,451,270*

(2) 参加費 (参加者が250名の場合†): ¥4,000 × 250 = ¥1,000,000

(3) 外部団体からの援助金: ¥950,000 (確定)

収入合計: (1) + (2) + (3) = 3,401,270円

* 実際に前年度センター校から引き継いだ金額

† 夏の学校開始前の見通しにより、参加者数を予算案における300名から250名に変更して計算した。

1.3 支出予定：各役職校からの予算（見通し）申請を元に作成

役職校	担当大学	今年度予算案(申請額)	決算予定額*	前年度決算額
三者センター校	名古屋大	16,000	12,220	660
三者事務局	総研大	0	0	0
三者準備校	東京大	450,000	450,000	151,001
三者名簿校	千葉大	0	-33,881*	0
素粒子論パート事務局	金沢大	0	0	0
素粒子論パート準備校	大阪市立大	23,000	23,000	19,632
原子核パートセンター校	九州大学	0	0	0
原子核パート準備校	京都大学	16,000	9,120	0
高エネルギーパート準備校	筑波大学	0	0	425
セクハラ対策 WG	-	0	0	-
役職校経費小計		505,000	460,459	171,718
講師旅費		400,000	477,030	477,740
ポスター印刷費		100,000	22,970	22,260
学生旅費補助†		1,300,000	1,300,000	1,262,140
次年度繰越金		1,096,270	1,140,811	1,440,612
総計		3,401,270	3,401,270	3,374,470

* 前年度活動資金残り。詳しくは名簿校の章を参照

† 学生旅費補助は暫定的に 130 万円として計算した。実際の補助額とは異なる可能性がある。

1.3.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (名古屋大学)

	申請額	決算予定額
振込手数料	3,000	3,000
交通費	13,000	9,220
申請額合計	16,000	12,220

- 三者事務局 (総合研究大学院大学)

申請項目	申請額	決算予定額
コピー代	0*	0
申請額合計	0	0

* 研究室のコピー機を为了能。

- 三者準備校 (東京大学)

申請項目	申請額	決算予定額
下見・交通費	0	0
施設使用料金	200,000	200,000
コピー代	120,000	120,000
文具代	30,000	30,000
通信費	30,000	30,000
郵送費	40,000	40,000
払出し手数料	30,000	30,000
申請額合計	450,000	450,000

- 三者名簿校 (千葉大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	-33,881*
申請額合計	0	-33,881*

* 前年度活動資金残り。詳しくは名簿校の章を参照

1.3.2 各パート役職校の支出予定項目

- 素粒子論パート

- － 素粒子論パート事務局 (金沢大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

- － 素粒子論パート準備校 (大阪市立大学)*

申請項目	申請額	決算予定額
録音・録画関係費	13,000	13,000
機材送料	6,000	6,000
消耗品代	2,000	2,000
研究会費	2,000	2,000
申請額合計	23,000	23,000

* 報告がなかったため、申請額をそのまま記載

- 原子核パート

- － 原子核パートセンター校 (九州大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

- － 原子核パート準備校 (京都大学)

申請項目	申請額	決算予定額
コピー代	2,000	0
郵送代	10,000	6,120
文房具代	4,000	3,000
申請額合計	16,000	9,120

- 高エネルギーパート

- － 高エネルギーパート準備校 (大阪大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

- セクハラ ワーキンググループ

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

1.4 各役職校の決算提出について

決算時には、以下の手続きをして頂きますので各役職校の方はご承知下さい。

領収書の郵送

領収書は決算時に下記 三者センター校 (名古屋大学) まで、まとめて郵送して下さい。

決算報告 (メール) と見比べやすくするため、領収書の上下隅もしくは裏面に番号を振って下さい。

決算報告の提出 (メール)

決算報告をメールでお願い致します。このとき、各項目にどの領収書が対応しているかが分かるようにして下さい。詳細については後日連絡します。

残高の振込み

三者センター校から各役職校に入金した予算が余った場合は残高を三者センター校の口座に振り込んでください。

期日 及び 郵送・連絡先

秋の三者総会で決算報告を行います。

各役職校のセンター校宛の決算報告、領収書提出の締め切りは、『9月9日(火)』とします。期日までに提出できない場合には下記連絡先に必ずご連絡下さい。連絡も領収書の提出もない場合には、三者からの支払いができない場合がありますのでご注意下さい。

連絡先

〒 464-8602

名古屋市 千種区 不老町名古屋大学大学院 理学研究科 物理学教室
素粒子論研究室 (E 研) 2008 年度 三者若手夏の学校 三者センター校 宛

E-mail :yonupa-domatsuri@eken.phys.nagoya-u.ac.jp

phone :052-789-2450

fax : 052-789-2932

2 2008 年度三者事務局校 (総合研究大学院大学)

['08/08/08 現在]

文責：高橋直也 (総研大)

2.1 活動報告

- 2007 年 8 月 2007 年度事務局校 (金沢大) から引き継ぎ
- 2007 年 9 月 YONUPA-HP の更新、YONUPA-ML の管理引き継ぎ
- 2007 年 9 月 秋の三者総会 (YONUPA-ML 上) の運営
- 2007 年 11 月 春の三者総会のためのインフォーマルミーティングを申し込む
- 2008 年 3 月 春の三者総会 (@近畿大学) の運営
- 2008 年 4 月 YONUPA-ML 一斉更新
- 2008 年 7・8 月 次期役職校選定のための交渉
- 2008 年 8 月 夏の三者総会の運営

2.2 三者役職校の選定 (承認)

三者役職校はローテーション校と呼ばれる 20 の大学の若手が毎年持ち回りで担当しています。2008 年度事務局校は 2011 年度センター校・準備校と 2010 年度事務局校・名簿校を選定することになっており、ローテーションを考慮して以下の大学にお願いしました。承認をお願いします。

2011 年度センター校	京都大学
2011 年度準備校	九州大学
2010 年度事務局校	北海道大学
2010 年度名簿校	お茶の水女子大学

2.3 秋の三者総会の開催方法について

2007年に実施したML上での秋の三者総会の成功を受け、今後は秋の総会をML上で開催することを提案します。

秋の総会(9, 10月)は夏の総会後すぐにあるので、夏の学校の決算以外の議案はあまり提出されません。したがって、わざわざ秋の物理学会のインフォーマルミーティング(IM)という、開催者にとっても参加者にとっても手間のかかる形で開催する意味はないと判断したためです。

ちなみに春の総会についてですが、春の総会の時期(3月)は夏や秋の総会の時期(8月と9月)と離れているので、議論の必要な議案が出る可能性が高いことと、yonupa会員の直接交流の場を夏の学校以外にも設けることの必要性を考慮して、春の総会は春の物理学会でのIMとして従来通り開催したいと思います。

3 2008年度三者名簿校(千葉大学)

['08/07/29 現在]

文責: 福井伸行(千葉大学)

3.1 名簿校の活動資金について

現在、名簿予算の繰越金として昨年の名簿校担当者から引き継いだ33881円が私の手元にあります。以前、名簿校の予算が他の部門と独立していたときのものがそのまま名簿校担当者に引き継がれてきたものだと思いますが、三者総会の決算報告を経ずに受け渡しが行われている上、名簿の印刷を廃止して以降、名簿校の予算は0円の状態が続いており、このまま次の担当者に引き継ぐのも無駄だと思います。そこで、この33881円を全体の次年度繰越金にまとめて来年度以降の活動資金に充てることを提案します。